



議題を見つけて学級会、解決策を考えました

クラスごとに学級会で議題にしたいことについてアンケートをとり、議題を決定。まずは、一人一人が解決策を考え、その後、班ごとに話し合って意見をまとめ、クラス全体で話し合い、解決策をまとめました。建設的な意見も出て、活発なよい話し合いができたようです。議題を検討してくれてくれた学級委員さん、学級会をうまく進めてくれた議長団のみなさん、ありがとうございました。他のクラスの解決策も参考になると思うので、紹介します。

	議題	解決策
1組	みんなが快適に過ごすために	○思ったことをすぐに言わない ○傍観者にならないために、いじめを目撃や聞いたりしたら、生活アンケートを使ったりして、先生などの大人に知らせる。○できるかぎり自分たちで解決する。どうしてもできなさそうなときは先生を頼る
2組	課題の提出率を高めるにはどうしたらよいか	◎提出物長に出す。(提出物長が呼びかける) ○毎日目標を立てる。○提出していない人の名前、番号を指示。○楽しさを教える。○空き時間をつかう。
3組	休み時間の過ごし方	○騒ぐ場所を決める○人の迷惑なところにはいかない
4組	休み時間の過ごし方	1、さわがしくしない。2、授業が終わった後、次の授業の準備をする。3、落ち着いて過ごし、4、3分前に着席する。
5組	授業中の態度について	○フォロワーシップ○うるさい人に対して適切なアドバイスを欠ける
6組	係活動を充実させよう	・係がすること ○提出する日と時間を決めてホワイトボードに書いて提示する。○未提出の番号をホワイトボードに記して、呼びかける。 ・個人 ○呼びかけても応じられない人がいた場合は、自己責任とする。

「自分たちで決めたことは、ちゃんと守っていきたいです。」という言葉の通り、自分たちの生活をよりよくできる集団づくりをめざしていきましょう。

2学期もあと1週間、よりよく締めくくろう

～3学期は「2年0学期」!『先輩』になる準備を始めよう～

あと5日間登校すると冬休みです。冬休みの楽しいことも考えつつ、「先輩になる準備をする」3学期に向け、1日1日の生活を丁寧にしっかりと送ってほしいです。事故ゼロも意識して、気持ちよく締めくくりましょう。

12月18日(月)～12月22日(金)の予定

	18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)
朝	読書	読書	読書	読書	読書
1校時	月①	火①	水①	木①	終業式
2校時	月②	火②	水②	木②	学活
3校時	月③	火③	水③	木③	
4校時	月④	火④	水④	木⑤	
5校時	月⑤	火⑥	水⑤	学年集会	
6校時		火⑤	水⑥	大掃除	
行事など	制服登校 部活動なし 15:30下校	体育着登校 17:15下校	体育着登校 17:15下校	体育着登校 短縮6時間 部活動なし 15:45下校	制服登校 11:10下校 部活14:30再登校 16:30下校

心温まるとてもうれしい話

「先生に頼らなくても、自分たちのクラスだから自分たちで解決できるようにするべきだと思います。」と、あるクラスの学級会での発言。自分たちでよりよいクラスや学年をつかっていこうという思いが、素晴らしいですね。きっと、同じように思ってくれている人も多いと思います。是非、みんなの力で、誰もが笑顔で過ごせる素敵な学年にしていきましょう。期待しています。

高橋俊一郎先生の講演会をきいての感想を紹介

1 時間で私は、たくさんのお話を学ぶことができました。剣道の事故で歩けなくなって、手も動かない状況で、私なら、いつになっても動き出せないけど、高橋さんは、医者の方からの言葉などで、たくさんのお話に挑戦し、バスケなどやっていて、すごいなと思いました。車いすスポーツという選択をすぐに決めたのはすごいし、リハビリして動かなかった腕を動かようにしているのは、私ならすぐにあきらめてしまうのにと、とても尊敬しました。今までの私は、障がいのある人や車いすに乗っている人を見て、大変そうと思っていたけど、これからは、思うだけでなく、少しでも役に立てるように、手伝いをしたいです。高橋さんに言われた通り、友達の命を大切に、あいさつをきちんとしたいです。ありがとうございました。

(1-3 石原茜那)

昔は、体が不自由な人せん用のエレベータやトイレ、スロープなどがなかったんだなあと今日の話をおきいて思いました。体の不自由な人から見てまわりの人たちの視せんはどれほど怖いのかも今日のお話で分かりました。自分が不自由な人になったら、病院か家にももってしまうかもしれません。私の身近に体の不自由な人がいたら、助けたいと思うようになりました。テレビで、パラリンピックを見ていると私は毎回、走りにくそうだなあ」だったり「やりにくそうだなあ」と思っています。でも、「すごいなあ」と思ったりします。もしそのようなことが、体験できる場があったら、やってみたいと思いました。(1-4 竹下遥)

高橋先生は、車いすなのに、私たちよりも色々なことに、前向きにチャレンジして私も、高橋先生に負けないようにこれから、色々なことにチャレンジしていきたいと思いました。学校に行きたいと思って、行った高橋先生も、とてもすごいと思ったけど、それを聞いて家までむかえに来てくれたクラスの人たちや、高橋先生がすごしやすいように考えて、行動した人たちも、とてもすごいなと思いました。人それぞれ必要なものか分かってほしいことは、違うけど、それを、できるだけ理解して考えて動けるようになりたいと思いました。とてもいい講演会をしていただき、ありがとうございました。(1-5 川村友杏)

今日はありがとうございました。不慮の事故によって感覚がなくなってしまっても、とても精力的に活かされていて、あれがもし自分だったらどうだろうと考えたら、非常に恐れ入ります。他にも、車いすであんなに速く自由に動いていたり、うでの力だけでボールをパスしたりと、本当に私ではできないようなことばかりでした。話を聞いて一番心に残ったことは、世間のバリアフリー化率の低さ、意識の低さです。私もあまりよく考えたとはなかったなので、今度考えてみたいです。ちなみに高崎駅のスロープがつながるトイレやエレベーターは何度も見ていましたが、用途を考えたことはなかったなので、とても納得しました。今日は、貴重な話を本当にありがとうございました！(1-6 久保田晃)

※本日、期始めテストの範囲表を配付しました。1, 2学期に学習した内容が出題されます。早めに取りかかり、計画的に進められるとよいですね。